



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

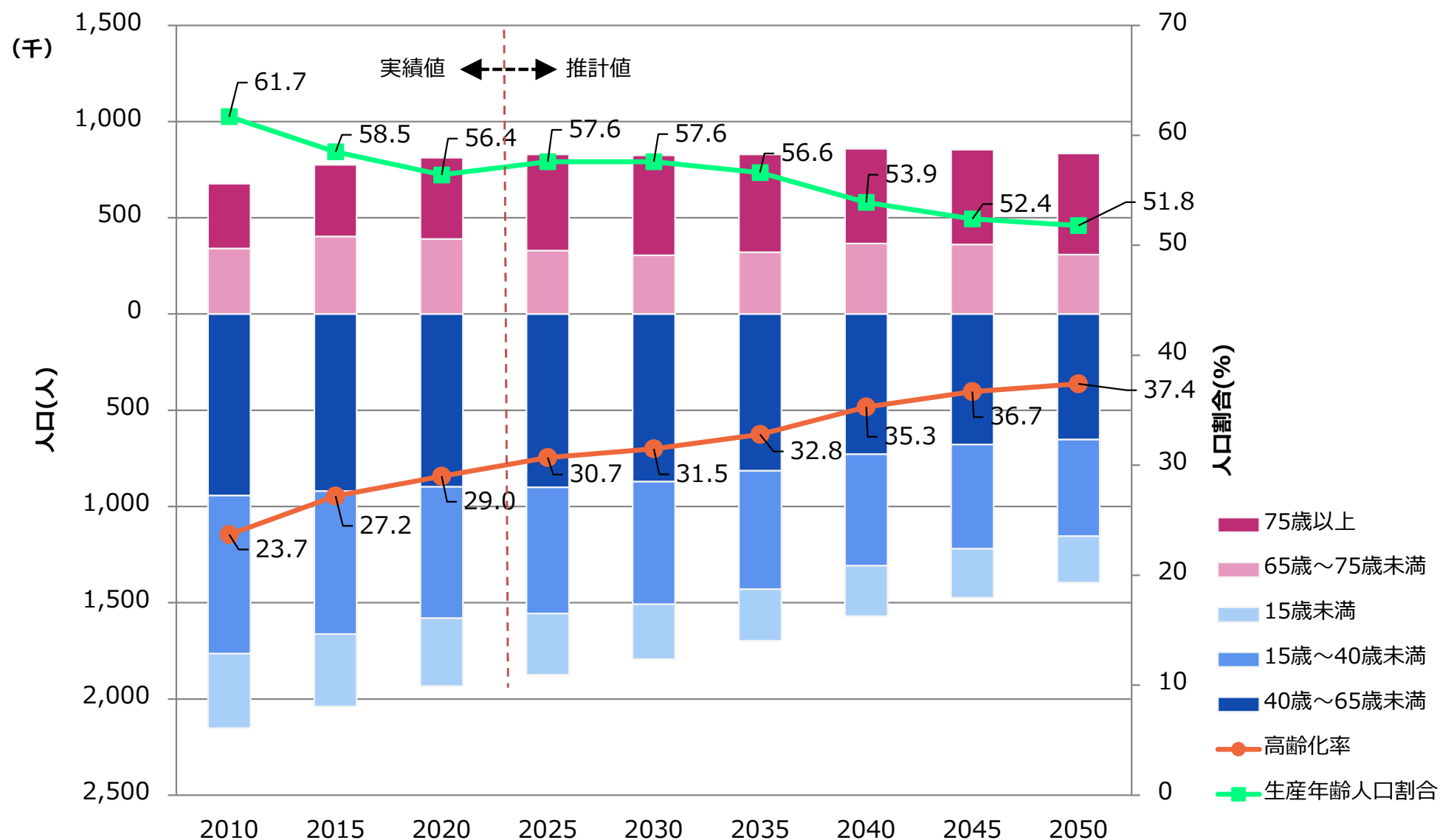


広島県内の移動支援の 実施状況について

令和7年11月14日

広島県 健康福祉局 地域共生社会推進課

広島県の人口の推移について



人口構造の変化のスピードに変化が生じている

令和2年を基準とした令和22(2040)年の人口の減少率

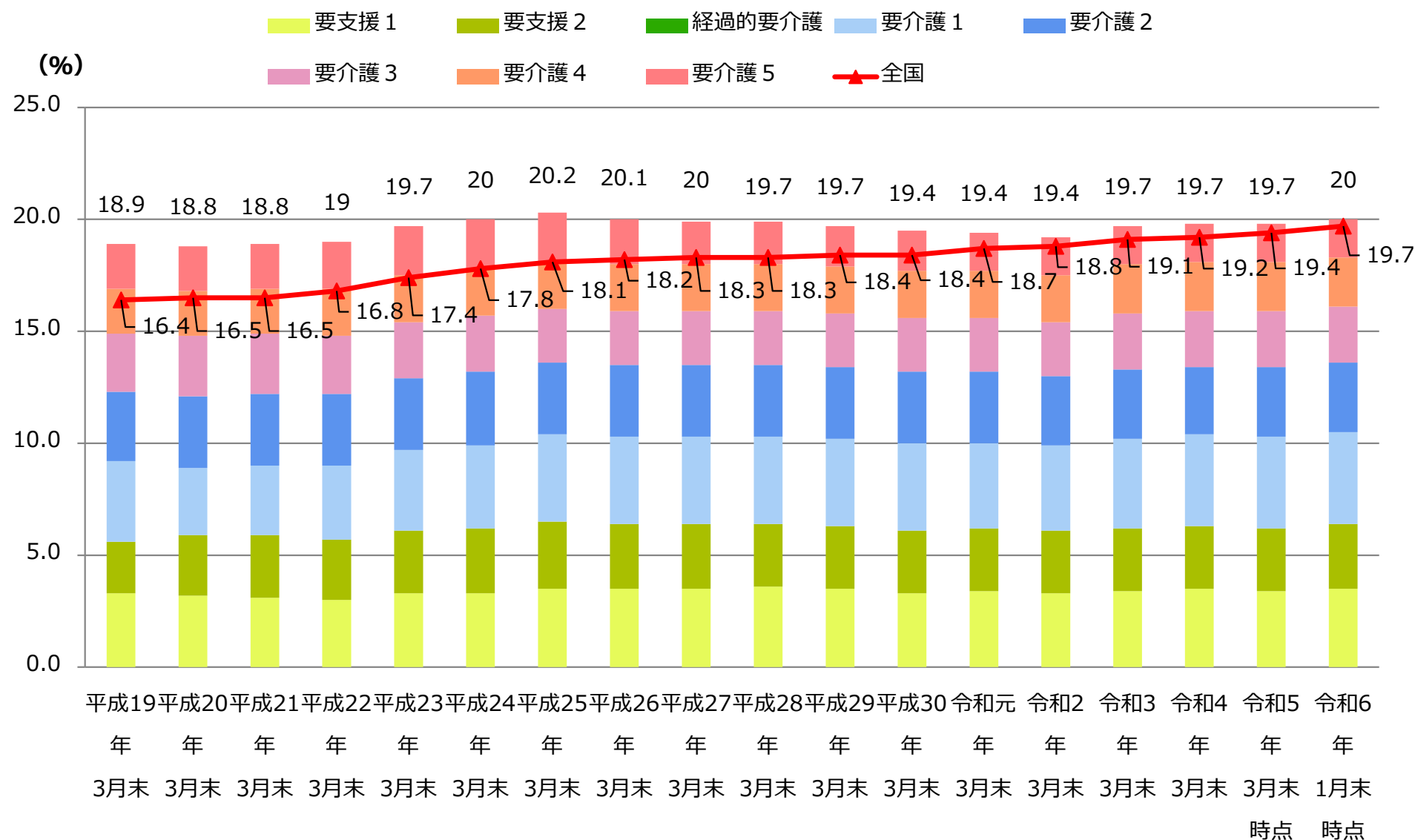


2025年・2040年の広島県の姿

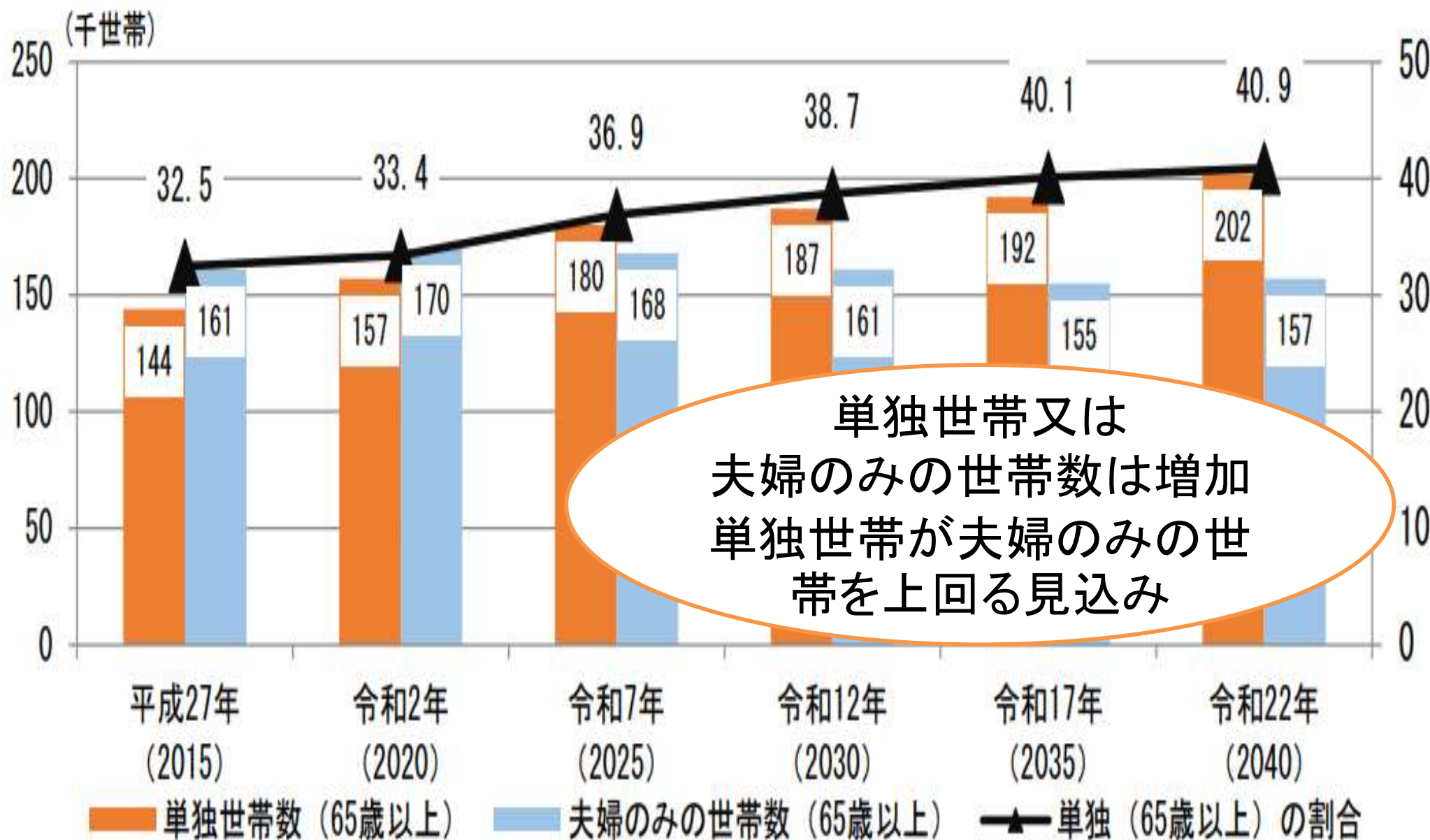
2020年・2025年・2040年の広島県の姿



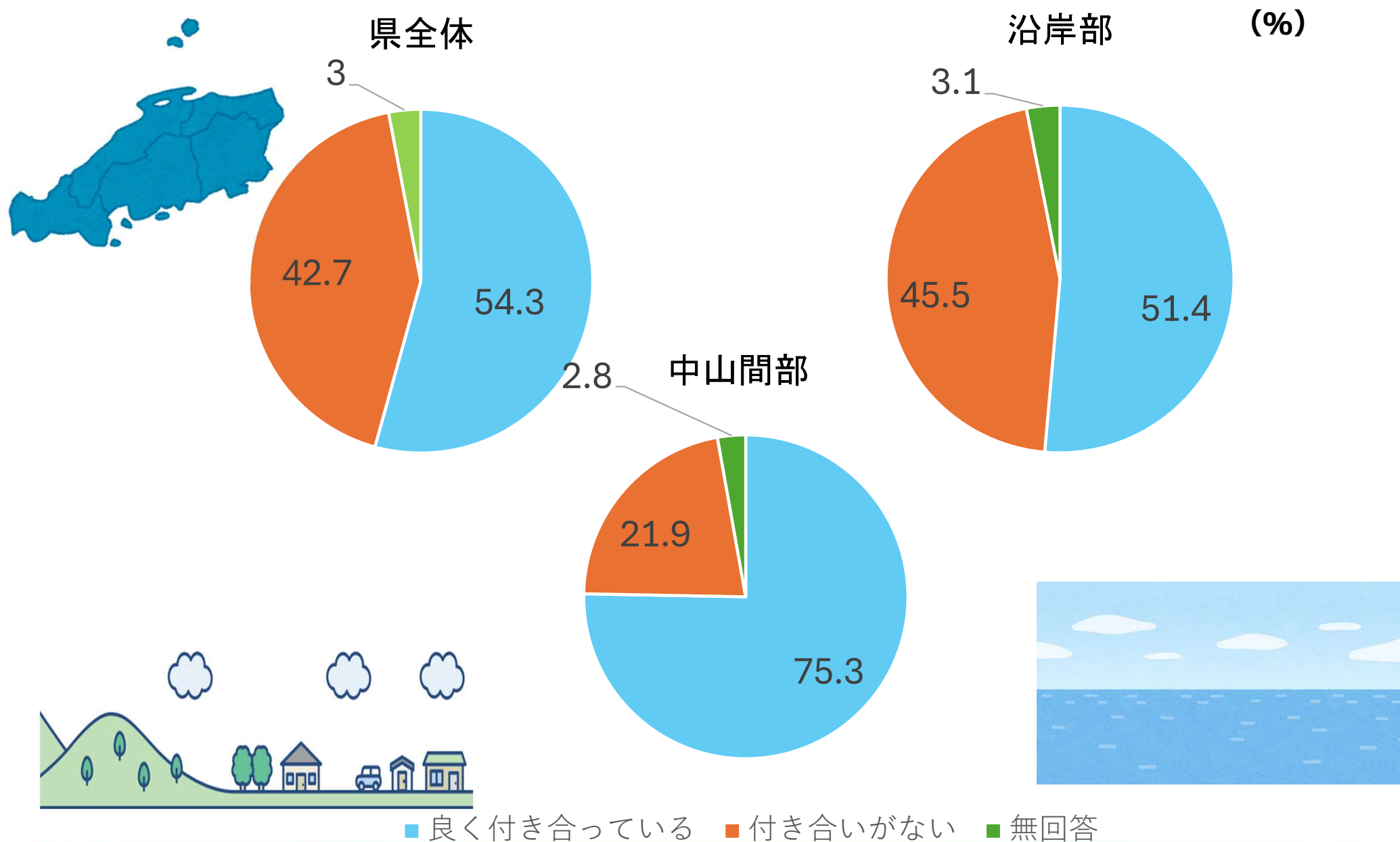
広島県の要介護認定率



広島県の高齢者世帯の推移



広島県の地域とのつながりや近所の方との付き合いの頻度



地域包括ケアシステムに係る県民の安心感に関するアンケート調査結果

③ 医療や介護が必要になった時を現在不安に感じている理由について（40～64 歳と 65 歳以上との対比）

（単位：％）

選択肢	40～64 歳	65 歳以上	全体
近隣に病院がないなど医療に不安がある	11.3	12.2	11.7
在宅の介護サービスに不安がある	17.1	24.4	20.3
自宅にいられなくなった時、医療や介護に不安がある	34.5	46.1	39.6
身体が動かしにくくなるなどした時に支えてくれる身近な家族や知人などがいない	26.0	23.8	25.1
食事や買い物などの生活支援や見守りに不安がある	22.8	27.7	25.0
自分の健康に不安がある	31.3	35.7	33.2
自分が参加できる地域の場所がない	6.8	5.2	6.1
特に大きな理由はないが、ばく然とした不安がある	43.9	39.3	41.9
その他	5.3	2.1	3.9

※回答数 1,177 人（40～64 歳 661 人、65 歳以上 516 人）、割合は 100%になるよう端数調整

④ 自身の老後（将来）の不安とその内容について（40～64歳と65歳以上との対比）

（単位：％）

選択肢	40～64歳		65歳以上		全体	
感じたことがある	36.7	74.5	28.3	72.3	32.5	73.4
なんとなく感じたことがある	37.8		44.0		40.9	
あまり感じたことはない	15.7	25.5	20.9	27.7	18.3	26.6
感じたことはない	9.8		6.8		8.3	

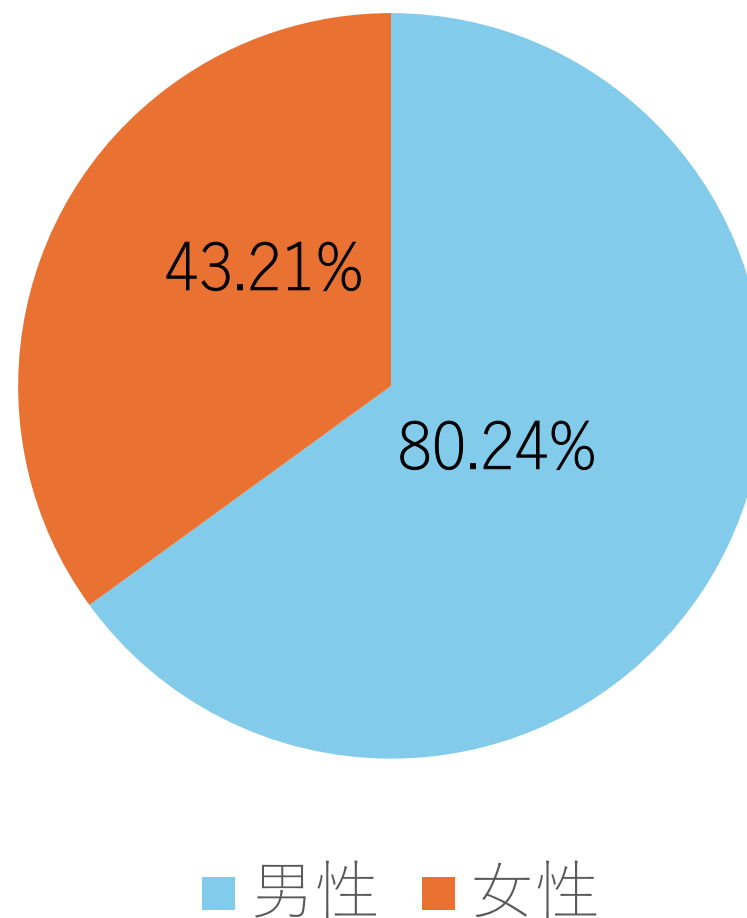
※回答数 2,000 人（40～64歳 1,000 人、65歳以上 1,000 人）、割合は 100%になるよう端数調整

（単位：％）

選択肢	40～64歳	65歳以上	全体
経済的な負担に関する不安	71.5	54.9	63.4
病気やケガなどの健康不安	56.8	68.2	62.4
介護に関する不安	42.4	46.1	44.2
認知症に関する不安	38.3	48.7	43.4
自宅内（階段・風呂など）での転倒事故の不安	17.2	20.2	18.7
心身が弱った時などの生活やちょっとした困り事への支援に関する不安	24.4	27.9	26.2
ご近所づきあいや、地域で参加できる場所に関する不安	11.1	10.4	10.8
人間関係・近隣トラブルの不安	13.4	11.2	12.3
家族や子どもに面倒をみてもらえるのかどうかという不安	12.6	14.8	13.7
家族や子どもに負担や迷惑をかけるのではないかと不安	25.0	37.1	30.9
行政手続きや、契約、財産管理に関する不安	16.9	16.2	16.6
I C T（情報通信技術）に不慣れなことへの不安	7.9	8.7	8.3
交通事故を引き起こしてしまう不安（逃走など）	10.0	10.4	11.6
運転免許を返納した後の移動に関する不安	14.9	21.9	18.3
交通事故や犯罪に巻き込まれる不安	13.4	14.2	13.8
自然災害で逃げ遅れる不安	14.1	14.1	14.1
孤独死に対する不安	19.6	11.9	15.8
その他	0.9	1.5	1.2

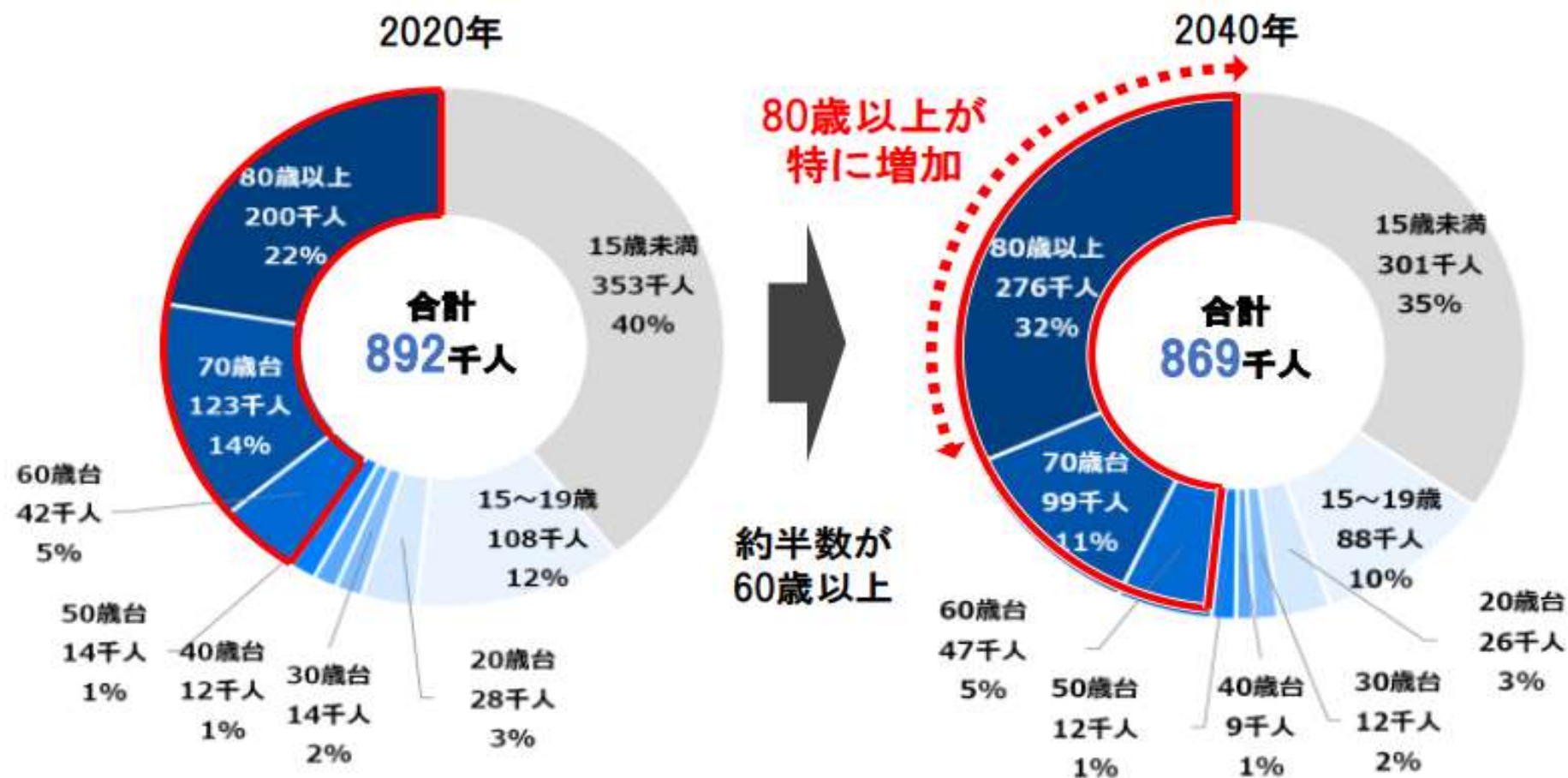
※回答数 1,468 人（40～64歳 745 人、65歳以上 723 人）、割合は 100%になるよう端数調整

高齢者人口（65歳以上）と運転免許保有者の割合



運転免許を持たない人の年齢別内訳

運転免許を持たない人の年齢別内訳



出典：広島県地域公共交通ビジョン令和6年3月

出典：警察庁「運転免許統計 補足資料2」、総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」

※2040年の免許保有率は2020年と同じとして算出。端数処理で、合計と内訳の計とが一致しない場合がある。



高齢化率が増加

高齢者を支える生産年齢
人口の減少

運転免許を持たない
80歳以上高齢者の増加

働き手や担い手が減少

移動支援の必要性が 高まっている

高齢者世帯の単身
世帯の増加

交通サービスの持続可能性
の低下

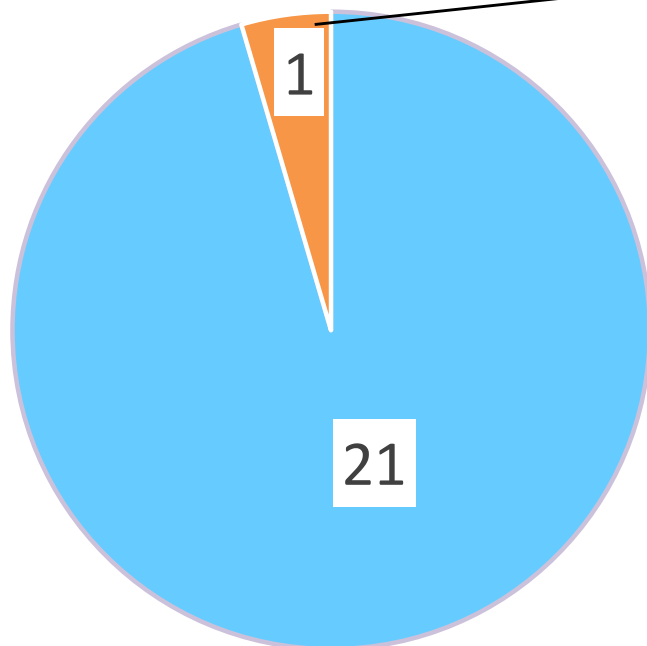
地域のつながりの
希薄化

高齢者の移動がますます制約される

広島県の移動支援の実施状況

移動支援の課題がありますか

単位：市町



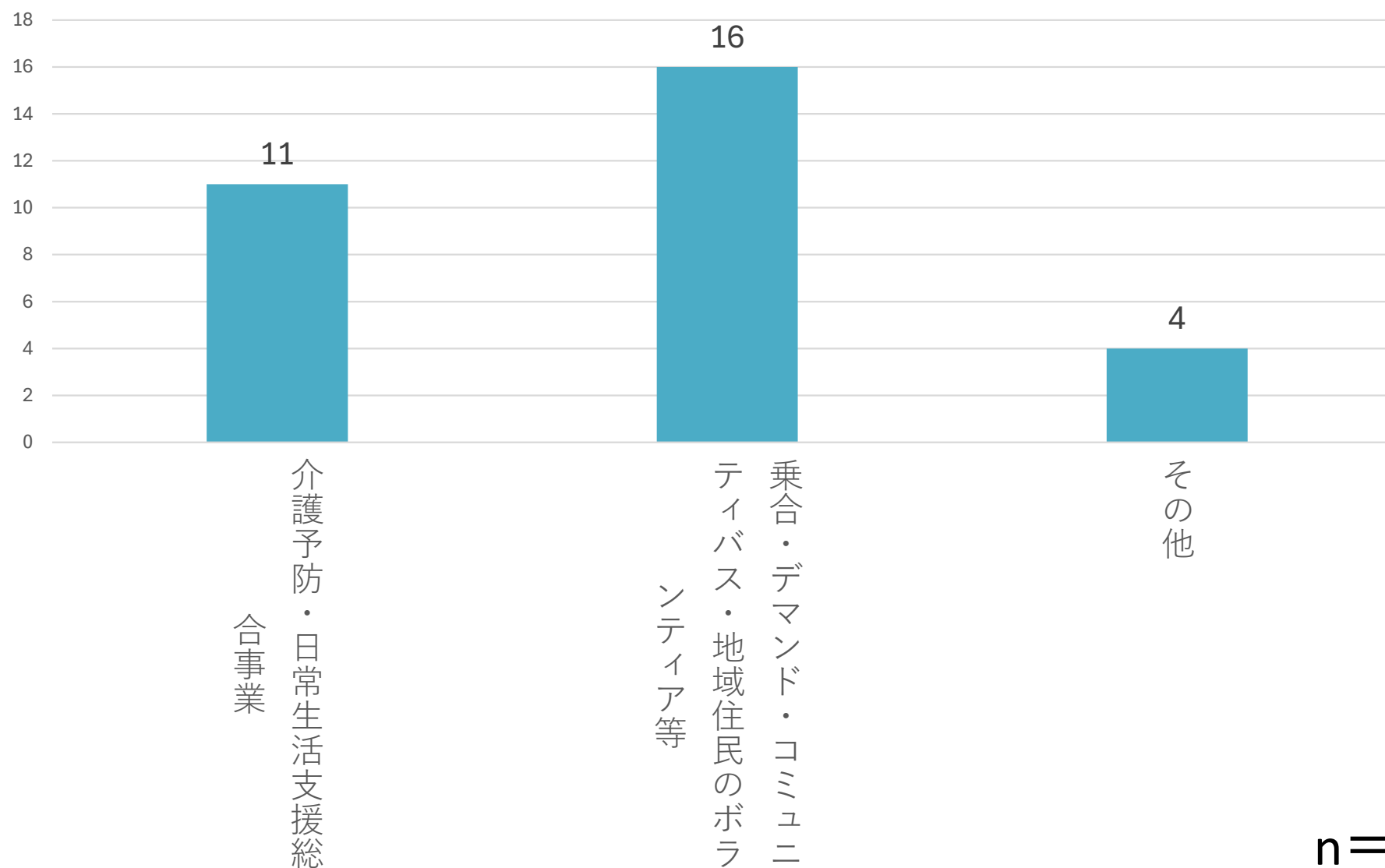
今後、移動支援のニーズは出てくると思いますか？の問いに対して、「はい」と回答。

■ はい ■ いいえ

n=22

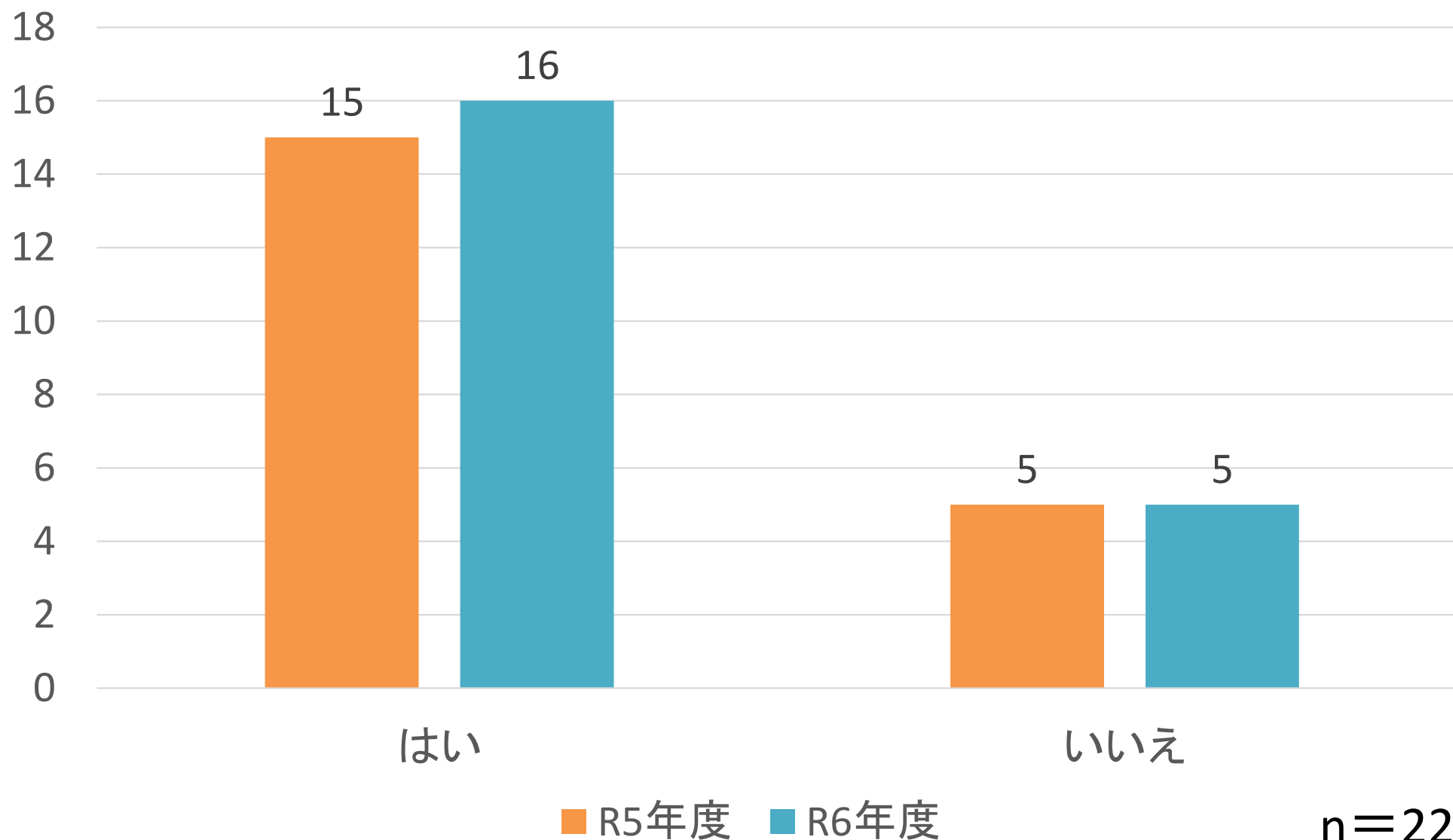
市町で実施している移動支援の状況について

単位：市町



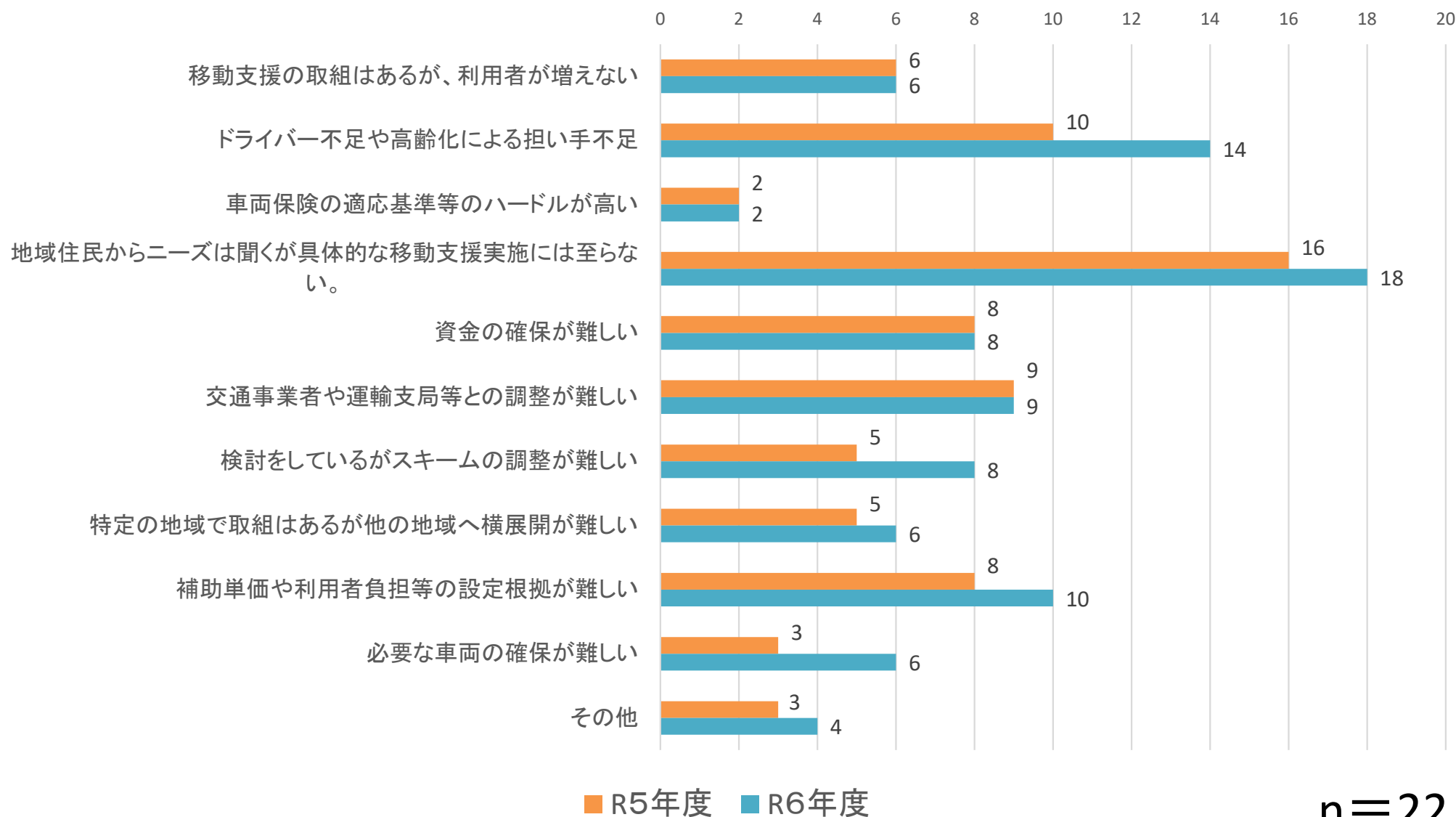
関係者（機関）との話し合いの場を持っていますか？

単位：市町



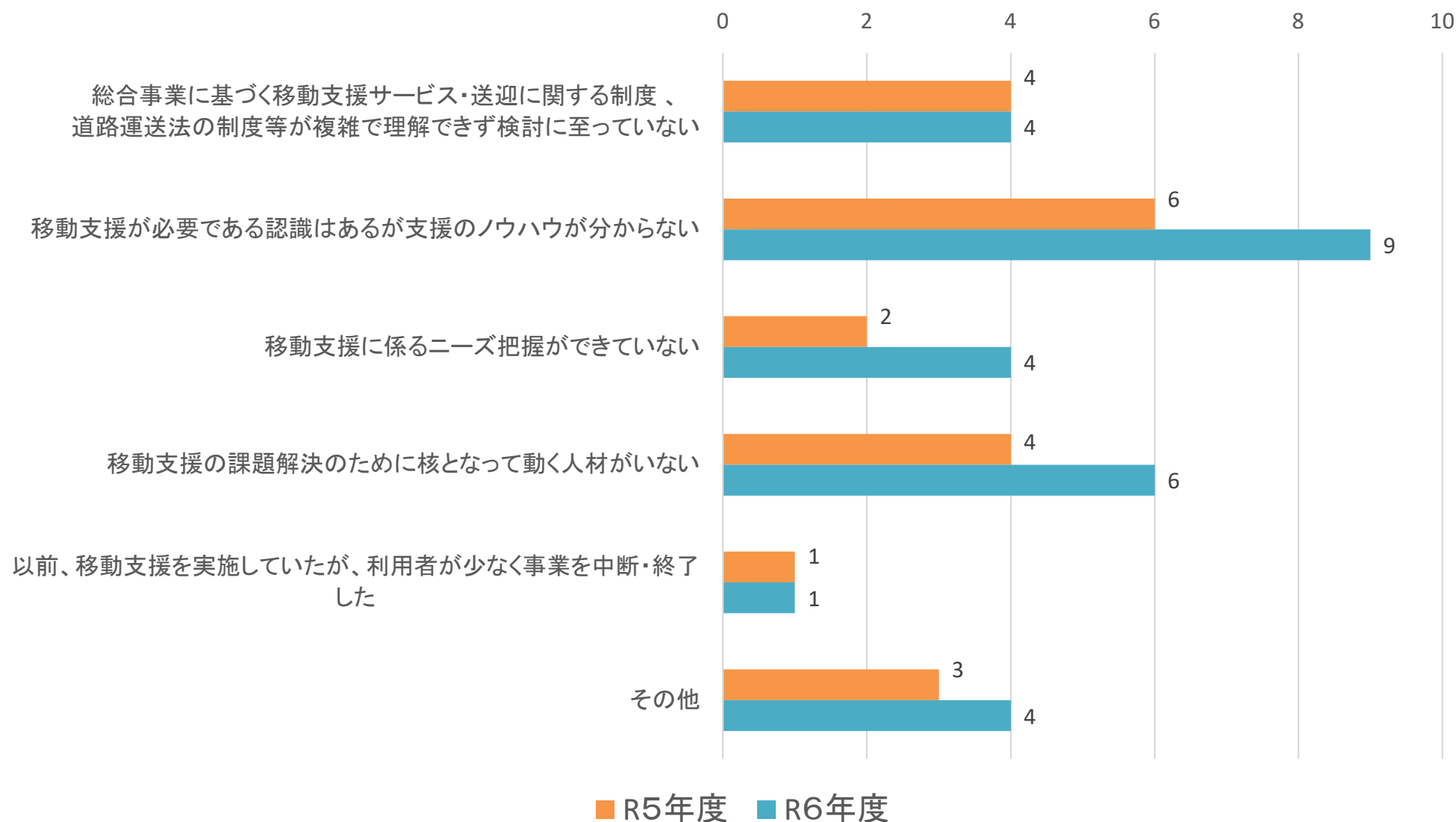
移動支援に関する課題について

単位：市町



移動支援の取組が無い場合、取組が実施されていない理由について

単位：市町



n=22

市町の移動支援の取組

行政

交通関係

包括

地縁組織

SC

バックアップ

県の移動支援に係る取組

人材育成(研修)

- ・地域包括ケアセミナーの開催
- ・移動支援研修会の開催
- ・生活支援体制整備事業に係る研修会(広島県地域包括ケア推進センターに委託)

調査・情報提供

- ・移動支援に係る調査
- ・市町の取組の情報収集
- ・市町事業の実施状況確認
- ・地域包括ケアシステム評価指標

専門家派遣・伴走支援

- ・地域包括ケア伴走支援事業
(R5年度～モデル実施)
- ・★移動支援に係る電話等相談事業(創設)

調査結果から・・・

【具体的課題】

- 交通部局との連携不足
- 道路運送法等の制度が煩雑
- 支援のノウハウがない
- ドライバーの高齢化による担い手不足

相談の一步が
踏み出せない



移動支援に係る電話等相談事業
新たに 創設

相談のハードルを下げる！

【県の目指す方向性】

高齢期になっても健やかに自分らしく輝き 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる広島県（第9期ひろしま高齢者プラン）

買物・通院等
生活の維持

移動支援は必要

サロン・通いの場
人と人との
つながりの維持

広島県移動支援に係る電話等相談事業について

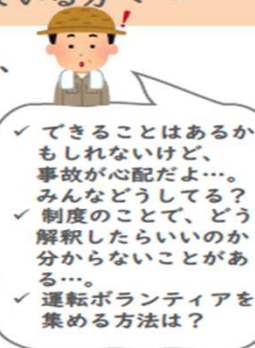
令和7年度

移動支援に関する相談受け付けます！

～ 地域に住む通院や買い物、集いの場所等への外出に困っている方のために活動されている方、これから活動したいと考えている方へ～

【事業概要】 広島県内で高齢者等の移動支援を立ち上げたい方、すでに活動している方、後方支援をしている方等に対する相談窓口を設置します。

- ◆ 実施期間 令和7年5月2日(金)～令和8年3月19日(木)
- ◆ 対象者 広島県内の住民、事業者、行政職員 等どなたでも
- ◆ 利用料金 **無料**
※但し、相談に係る通話・通信料は利用者負担。
- ◆ 相談員 移動支援に関する制度や、他市町の事例に精通し、サービス立ち上げの実績のある全国移動ネットに所属するスタッフ



毎週**木**曜日が**電話相談日**

です。

時間帯：13時から16時まで

メール相談も可能です。

対象者：広島県内の住民、事業者、行政職員等（どなたでも可能）

移動支援に関する制度や他市町の事例に精通したスタッフがご質問にお答えします。
ぜひ、ご活用ください！

毎週 **木曜日** が電話相談日です！（祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く）
🕒 時間帯 **13時から16時まで** / ☎ 相談先 **050-5526-2620**

移動支援の実施や制度に関すること、何でもご相談ください！

便利なメール相談もあります。（随時受付）info@zenkoku-ido.net

※お電話が繋がらない、どうしても時間帯が合わないという時は、全国移動ネットにお電話ください。

※行政の方で、別途アドバイザーとしての派遣を希望される場合は、広島県地域包括ケア推進センター（082-569-6493）にご相談ください。

広島県地域包括ケア推進センター「移動支援に係る電話等相談事業」
委託先：特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク（全国移動ネット）
TEL 03-3706-0626 / FAX 03-3706-0661（月～金 10:30～16:30）



ご清聴ありがとうございました。

